

令和7年9月23日

## 令和8年度 日本大学芸術学部写真学科 総合型選抜事前課題（小論文）

写真における「決定的瞬間」の意味を調べ、あなたが考える決定的瞬間と思う写真を例にあげて考えたことを述べてください。

### 附則

- 1 その写真を提出してください。
  - ・選んだ写真の内容が分かる大きさのコピーをA4用紙で出力するか、あるいは対象写真を撮影し2Lサイズにプリントしたものも一緒に持参してください。
  - ・写真の「出典」と、「作者名」と「タイトル」を記載してください。
  - ・自分の写真でも、誰の写真でもかまいませんが明確に記してください。
  - ・「作者不詳」「タイトルなし」でもかまいません。
- 2 AI やウェブで調べた場合は、そこからよく考えて自分の言葉で回答してください。  
(1,000字程度)

以 上

\*試験当日（10月26日）に回収いたしますので、同封の写真学科原稿用紙に清書してください。

令和八年度（二〇二六年度）試験問題

次の文章を読んで、「コミュニケーション」について論じなさい。

著作権の都合上、省略。

（※問題用紙2枚目に続く。）

著作権の都合上、省略。

『新しい分かり方』 著者 佐藤 雅彦 二〇一七年 中央公論新社

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 六〇〇字

※時間 六〇分

- 試験内容に関する質問には応じない。
- この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

## 令和八年度 入学試験問題

これから上映される作品は、エリック・ロメール監督による

『モンソーのパン屋の女の子』（一九六二年、一三分）。

この映画を観てあなたが考えたことを書きなさい。

\* 題名欄には必ず題名を記入すること

\* 字数 八〇〇字

\* 時間 八〇分

試験内容に関する質問には応じない。

この用紙はメモに利用してもよいが、試験終了後回収する。

令和八年度 (2026年度)

試験問題

問題

「○○の長いトンネルを抜けると□□であった。」で始まる物語を作りなさい。  
○○と□□は各自が好きに言葉を選んで良い。

※題名欄には題名を記入すること。

※字数 一〇〇〇字

※時間 九〇分

●試験内容に関する質問には応じない。

●この問題用紙はメモに利用しても良いが、試験終了後回収する。

## 撮影・録音コース 試験問題

映画のファーストカットとして、別紙にある8枚の画像から

1枚だけ選んで下さい。

このファーストカットに続くストーリーはどんなものですか？

理由を含めて論じてください。

なお、選ばなかった残りの7枚の画像は使用しないものとします。

この問題用紙と画像の用紙は試験終了後回収しますが、メモとして使用することができます。

A



出典:芸術学部映画学科平成29年度卒業制作「ほぼ二分之一」

B



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「actually」

C



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「本と盲目」

D



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「本と盲目」

E



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「みちしるべ」

F



出典:芸術学部映画学科平成28年度卒業制作「ENDのなかで」

G



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「みちるべ」

H



出典:芸術学部映画学科令和6年度卒業制作「ゆうかん魔法少女」

令和八年度 (2026年度)

## 実技試験問題

発声 一 【次の内容をはっきりと述べてください。】

受験番号 ( ) 番、 ( ) 氏名 ( ) です。

出身は ( ) 都道府県名 ( ) で、学校は ( ) 学校名 ( ) 高校を卒業する予定です。

年齢は、 ( ) ( ) 歳です。

発声 二 【次の文章を朗読してください。尚、 ( ) 内は朗読しなくて結構です。】

旧満州 (現在の中国東北部) で終戦を迎えた。6歳だった。

「悲惨な、残酷な、悲しい話ばかり。漫画っていうのは、読んだ人が元気になって、明日、主人公のように元気に生きるぞというものだと思ってるので」

(中略)

自身の引き揚げ体験は描けなかった。

終戦と同時に「戦争のど真ん中に放り込まれた」。中国人の暴動やソ連軍の進駐、厳しい寒さ―。いつも死と隣り合わせの日々だった。

「コトツと音がして横を見ると、バーツとハエがたかり始める。さっきまで一緒に遊んでいた友だちが、いつの間にか死んじゃってる」

ようやく乗れた引き揚げ船でも、安心して気が緩んだのか亡くなる人が相次いだ。布に包まれ、そのまま海に葬られた。

(「漫画で伝える戦争 ちばてつやさん」 朝日新聞 令和7年8月16日(土))

動作 【次の内容をしぐさのみで表現してください。】

「設定」 放課後。帰宅しようとして階段を降りると、踊り場の窓から雨が降っているのが見えた。傘を取りに教室へ戻る。

教室に入ろうとすると、中から大声で怒鳴り合う声が聞こえる。中に入るか躊躇する。

言い合いは終わりそうにないので、静かにドアを開ける。

自分のロッカーから傘を取り出す。

傘に引っかかってロッカーの中の荷物が床に落ちてしまう。

音に気付かれ、呼び止められるが、足早に教室を出る。

(そのまま退出してください)

2026年度 美術学科

絵画コース（絵画専攻） 総合型選抜入試 令和7年10月26日

実技試験問題

[内容] 5時間30分 油彩・アクリル・鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く



[モチーフ]

- 木製テーブル × 1
- 安全靴 × 2
- レモン × 2
- 紙袋 × 1
- ペットボトル × 2
- アクリル絵の具 × 3

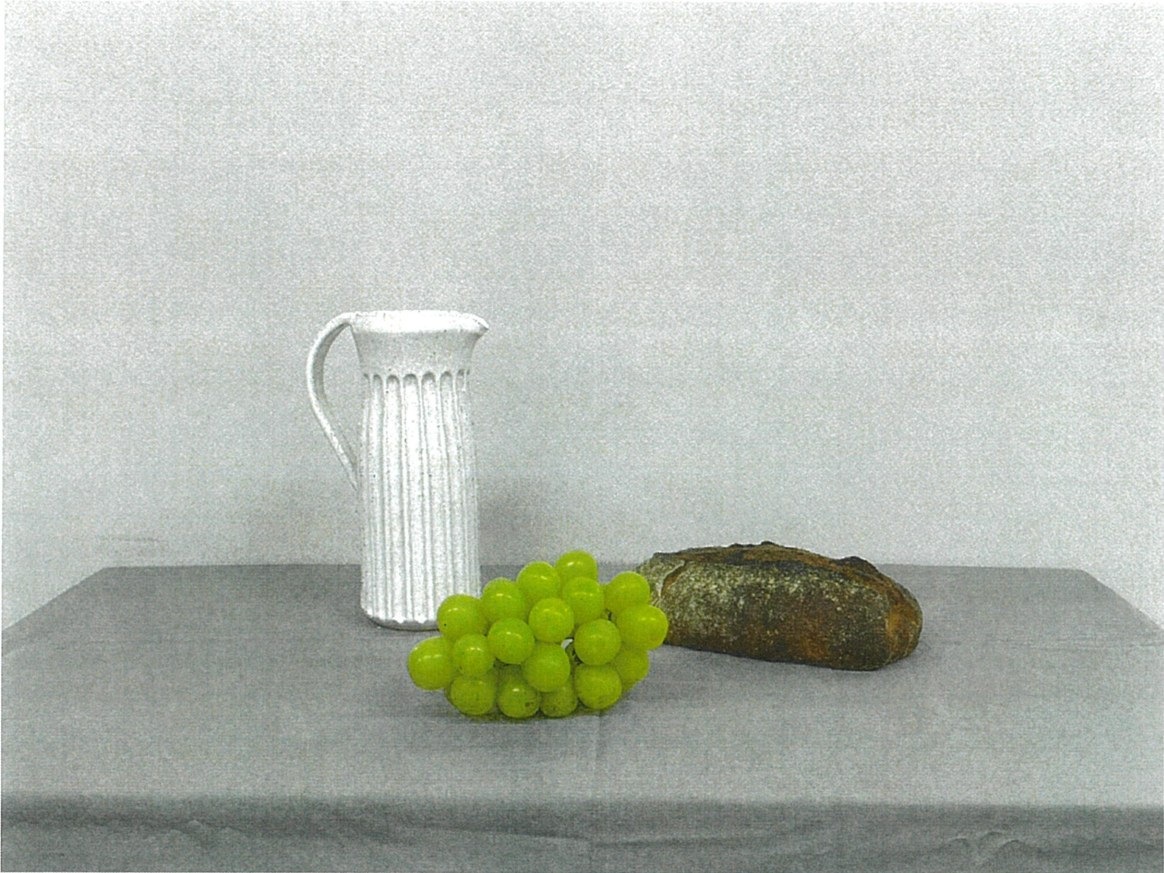
以上

2026 年度 美術学科

絵画コース（版画専攻） 総合型選抜入試 令和7年10月26日

実技試験問題

[内容] 5時間30分 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、静物を描く



[モチーフ]

●水差し × 1

●パン × 1

●シャインマスカット × 1

●布

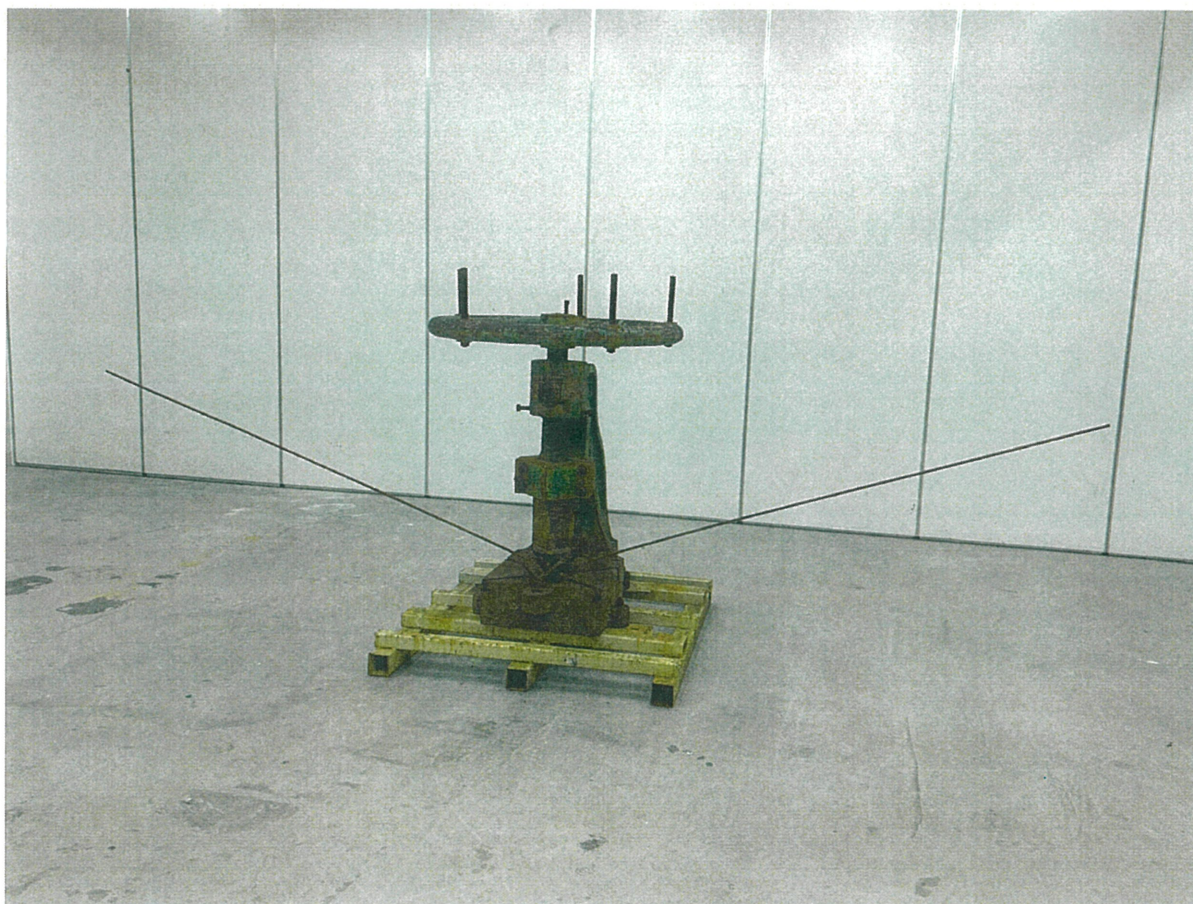
以上

2026 年度 美術学科

彫刻コース（彫刻専攻） 総合型選抜入試 令和 7 年 10 月 26 日

実技試験問題

[ 内容 ] 5 時間 30 分 鉛筆・木炭のいずれかを選択し、モノと空間を描く



[ モチーフ ]

- プレス機 × 1
- L字アングル × 1
- 鉄パイプ × 1
- 鉄製パレット × 1

以上

日本国内、国外に限らず、あなたの考える地域をあげ、  
その場で行われる芸術祭やイベントなどを行う場合  
において、下記にある言葉の中から2つ以上を用いて、  
必要な問題点を述べてください。

潜在能力 普及活動 文化政策 非営利組織 地域格差 地域依存 行政  
地域資源 運営資金 主体性 関与 芸術教育 価値観 社会文脈 起業支援

2026 年度 総合型選抜  
作曲専攻 作曲(80分)

次の旋律を冒頭におき、オーボエ独奏(ピアノ伴奏なし)のための小品を作りなさい。



- ・与えられた旋律の( )内の音符の長さは自由です。
- ・テンポ、強弱、アーティキュレーション、フレージング、必要な音楽用語なども適宜書き加えること。

その他の注意事項：

- ・小品は、提出用の五線紙に書くこと。
- ・提出用五線紙の表紙に氏名と受験番号を書くこと。
- ・下書き用五線紙は使わなくても構いません。
- ・この用紙と五線紙はすべて回収します。

2026年度総合型選抜

音楽芸術コース音楽文化マネジメント専攻  
実技（グループディスカッション）

音楽を通じた社会貢献として、どのようなことができるのか

令和八年度 文芸学科入学者選抜（総合型選抜）

作文・小論文問題

■ 次の二つのうち一つを選んで文章を書いてください。

（タイトルは自分でオリジナルのものをつけてください。）

① 「おいしいと感じている人が出てくる話」を作文してください。

② 「読むことと書くこと」について自由に論じてください。

◎ 時間 一八〇分

◎ 字数 三二〇〇字以内

◎ 答案用紙の題名欄の上に、選んだ問題の番号（①か②）を記入してください。

■令和8年度 総合型選抜 演劇学科 作文課題

「希望」をタイトルとし、あなたの思うことや物語を自由に作文してください。(800字程度/60分)

※以下、余白・裏面はメモとして使用することができます。

※この用紙は試験終了後に回収します。

受験番号

氏名

■令和8年度 総合型選抜 演劇学科 舞台構想コース グループディスカッション課題

これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。

テーマを変えて2回行います。1回30分です。

※ 1グループ5～6名

1. シェイクスピア『ロミオとジュリエット』に違うタイトルをつけるとしたら。(30分)
2. 感動の仕組みについて (30分)

「変化」をテーマに、台詞や身体を用いた自由表現を行ってください。

※1 時間は3分以内とします。

※2 道具や音楽などを用いることはできません。

■令和8年度 総合型選抜 演劇学科 デザイン技術コース グループディスカッション課題

これから発表するテーマについて、皆で自由にディスカッションしてください。

テーマを変えて2回行います。1回30分です。

※ 1グループ7～8名

1. 別途配布した戯曲のセリフから想像する物語や舞台空間について (30分)
2. おもわず「劇場へ行くといいと思いますよ」と言ってしまう状況 (30分)

優子

……最初来たときは、ずーっと陽が暮れないんじゃないかと思ってた。

治

……。

優子

……でも、気がついたら、いつの間にか夜になってるんで、びっくりするの。  
……、それから、がっかりして、あーあ、今日も一日、終わりがあつて思う。

松田正隆 『夏の砂の上』より (二〇〇二年 深夜叢書社)

受験番号

氏名

令和8年度 総合型選抜 放送学科試験 アナウンス分野 「適性をみる課題」について

- これから、音声・カメラテストを行います。
- まず2分から2分30秒の範囲内で自己紹介をし、次に原稿を読んでください。
- 自己紹介の最後に「以上です。」と言ってください。
- 待機場所では、自己紹介について考えたり、発声練習、原稿を読む練習をしてください。
- 発声は壁に向かって行ってください。
- 原稿に書き込みをしてもかまいません。
- 待機場所のテーブルに置かれたメモ用紙、ストップウォッチ、飲料水を使用してください。
- 音声・カメラテストでは、**原稿のみ**手元に準備してください。

自己紹介のメモを見ることはできません。

- テストは受験番号順に一人ずつ行います。係員の指示に従い、試験会場に行ってください。
- 課題について他の受験生と相談してはいけません。
- 課題についての質問は、一切受け付けません。

以上

夕方バス停でのこと。中学生らしき制服姿の女の子たちの会話が耳に入ってきた。「きのうさー、先生にさあ、ボロクソほめられちゃったんだ」。えっと驚いて振り向くと、楽しい笑顔があった。

若者が使う表現は何とも面白い。「前髪の治安が悪い」「気分はアゲアゲ」。もっと奇妙な言い方も闊歩する昨今だ。多くの人が使えば、それが当たり前になっっていく。「ボロクソ」は否定的な文脈で使うのだと、彼女らを諭すのはつまらない。言葉は生き物である。

大正の時代、芥川龍之介は『澄行堂雜記』ちやうこうどうざっきに書いている。東京では「とても」という言葉は「とてもかなわない」などと否定形で使われてきた。だが、最近はどうしたことか。「とても安い」などと肯定文でも使われている、と。時が変われば、正しい日本語も変化する。

今どきの若者は、SNSの文章に句点を記さないとも聞いた。「。」をつけるのと冷たい感じがするらしい。元々、日本語に句読点がなかったのを思えば、こちらは先祖返りのような話か。

新しさ古さに関係なく、気をつけるべきは居心地の悪さを感じさせる表現なのだろう。先日の小欄で「腹に落ちない」と書いたら、間違いでは、との投書をいただいた。きちんと辞書にある言葉だが、腑に落ちない方もいるようだ。

新語は生まれても、多くが廃れ消えてゆく。さて、「ボロクソ」はどうなることか。それにしても、あの女の子、うれしそうだったなあ。いったい、何を、そんなにほめられたのだろう。

令和八年度 日本大学芸術学部放送学科 総合型選抜

試験科目	試験時間	字数
小論文	八十分	八百字

### 小論文課題

二〇二五年現在、世界の人口約八十二億人の十分の一にあたる八億人もの人々が飢餓状態にあるとみられている。

一方で、日本は世界一ともいわれる飽食を謳歌し、毎日スーパーやコンビニエンスストアから、まだ食べられる食品が大量に廃棄されている。

日本で、生産から流通、消費の段階で発生する食品ロスは年間六十二万トン。

これは国連などが世界各地で行っている食糧支援の約一・五倍の量である。

日本の食品ロスをいかに減らすべきか。その方策を考えて論述しなさい。

試験実施日 令和七年十月二六日

令和8年度 放送学科 総合型選抜 放送分野 「適性をみる課題」

課題：「10年後の放送はどうあるべきか」を

ディスカッションしてください。(40分)

令和8年度 放送学科 総合型選抜 放送分野 「適性をみる課題」

先ほどのディスカッションをふまえて、自分の意見をまとめなさい。(20分)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

令和八年度 総合型選抜 放送学科 作文試験問題

## 作文題名

「休日」

六〇〇字

六〇分

試験実施日 令和七年十月二六日（日）

令和8年度 日本大学芸術学部 総合型選抜 エントリー通過者に対する事前課題

デザイン学科

**「あなたの身近な地域社会の問題点や課題について、**

**あなたが考えるデザイン提案をしてください。」**

地域社会とは、一定の地域的範囲の上に、人々が住む環境基盤、地域の暮らし、地域の自治の仕組みを含んで成立している生活共同体。コミュニティ。(広辞苑より)

また、その地域に属する組織や団体、施設も地域社会に含まれるものとする。

[ 注意点 ]

A2 サイズのボード 1～2 枚に完成させて試験当日に持ってきてください。

ケントボードに直接描くか別の紙に書いたものをボードに貼っても構いません。

回答作品ですので折ったり丸めたりしないでください。

本課題は返却しません。

裏面の右下に名前（フルネーム）を記載してください。

以上、課題に関する質問は一切受けつけません。

## 2026年度 総合型選抜入試問題

小論文（120分 1000字）

配布された資料（農業 × デザイン）を読み、以下について論じなさい。  
最初に轟久志さんが求めているデザインとはどういうことなのか簡潔に述べ、  
その上であなたが考える『産業 × デザイン』について論じなさい。

文字数は1000字以内とする。

著作権の都合上、省略。

## 資料1

### 農業×デザイン

長野県長野市大豆島

#### 農業も本気、デザインも本気

轟さんの経歴はちょっと変わっている。農家の息子として生まれ、短大を出ていったん会計事務所に入り、三年ほどで辞めてからほぼ独学でデザインを学び、長野市内のデザイン事務所で働き始めた。三十歳で独立してまちなかに事務所を借り、代理店の仕事やイベントやキャンペーンの仕事など、忙しくデザインの仕事を始めた。「だけど、何か理想とは違ったんですね」。そして十二年前、まちなかの事務所をきっぱり引き払って実家の畑の隣に事務所を建てた。畑が広がる農地のど真ん中に、である。

「まちなかでデザインの仕事をしながら、実家の手伝いもしていました。当時、実家ではアスパラをつくっていたんですけど、アスパラってどんどん伸びるんですよ。朝収穫して夕方も収穫しなければならないので、事務所と実家の畑を行き来する毎日。両親も高齢になってきたし、だったら農地の隣にデザイン事務所を建ててしまおう!と」。

現在の轟さんの日課は、だいたい朝6~8時まで農作業、その後2時間ずつ、デザイン作業と農作業を交互に行うというリズムになっている。「農業は天候に左右されますから、隣に事務所があると天気を見ながら農業ができるし、逆にデザインの急ぎの仕事があったらデザインの仕事をします。デザインも農業も、僕にとってはどちらも重要なので、両方大事にできる環境だと思います。周囲に何もないので静かですから、デザインの仕事にも集中できますね」。轟さんは子どもの頃、ちっともじっとしていない子だったのだそうで、学校が終われば外を駆け回り、野球やサッカーをしていたらしい。一日中、モニターに向かってデザインして、たまに打ち合わせで外に出る、というくらいしか体を動かさない生活が肌に合わなかったのだから、現在のリズムのほうがご自身に合っているのだろう。「子どもの頃は、農業って大変だしカッコ悪いと思って好きではなかったんですよ。でも、農地がある風景は好きでした。農家も高齢化でどんどん辞めていくし、農地が宅地になったり駐車場になったり、風景が変わってきてしまった。四十歳を過ぎて子どももできて、自分が生まれ育ったところが変わっていくのがやるせなくて、農地のある風景を残したいと思ったんです。自分一人で何とかするわけでもないけれど、自分も農業をやることで少しでも農地を残したいと想っていたんです」。

## 田んぼをコミュニケーションの場としてデザインする

藤さんの仕事は、生産者と真にコミュニケーションすることから自然発生的に生まれていくことが多い。相手の思いを聞き、自分の思いを話す。そのやりとりのなかから生まれてくる「こんなことをしたいおもしろいかも」を共に考えるのである。

例えば、長野県の北東に位置する木島平村の田んぼでポスターを展示する「田んぼギャラリー」も農家の人との会話から生まれたイベントだ。「農家さんは、農業ということが知られていなかったり、お米をつくっていることが十分PRできていないことがあって、『何かおもしろいことをやってみたんですよね』と言う。僕も、デザインがなかなか知られていないからもっと広く知ってもらいたい。『何か一緒にできないかな』って」。通常は室内で展示されるポスターを自然のなか、それも田んぼで展示したらおもしろいんじゃないか。もしかしたらこれまで来なかった人にもおもしろがって来てくれるんじゃないか。観光にもつながるかもしれない。地元の人にも、田んぼのある風景を愛着と自負を持ってもらえるんじゃないか。

「田舎では田んぼのある風景は当たり前すぎて新鮮さが無いけれど、そこにポスターを展示することで、改めて“そこに田んぼがある!”というのを感じてもらおうきっかけになればと想ったんですね」。

田んぼをコミュニケーションの場としたデザインのテーマは「ごはん」。プロのデザイナーだけでなく、デザインを学ぶ学生も主婦でも子どもでも誰でも参加できるようにした。二年目には、お茶を飲んだりお酒を飲んだりしながら、ギャラリーを眺められるようにと、田んぼのなかにウッドデッキを設置したりもした。

「田舎でも農家の子どもでもないとなかなか田んぼに入れないんですね。田んぼのなかにはいろいろな生き物がいる。自然やそこに住む生き物たちをもっと子どもたちに見て知ってもらい、大人でも田んぼのなかでごはんを食べたりお酒を飲んだりするのって気持ちいいじゃないですか。夕方、気持ちのいい風に当たりながらお酒を飲むって贅沢なことだと思ったり、なかなか都会会では味わえないことだと思えますから、みなさん喜んでくれましたし、集まってくれるんですよね。普通、田んぼに人が集まることってなかなかない。田んぼギャラリーをやったことによって、食について話したり、農業について話したり、デザインについて話すきっかけになる。そういうコミュニケーションになることが良いなと思いました。そういう具体的な場づくりこそデザインだと思うんですよ。」

2011年に始めた田んぼギャラリーは、2020年にCOVID-19のために中断したものの、2022年まで続いた。自然のなかでポスターを見るというのは新鮮だったという感想もある

一方、「反省点の一つは、地元のおじさんたちはあれを『絵』というアートだと思っているんですよ。デザインとして見てくれていない。そこが伝えきれなかったと反省もしている。だから、かたちを変えつつも、田んぼを舞台にするということは、今後も変わらず続けていきたい」と轟さんは言う。「やっぱりコミュニケーションの場として、田んぼというのはおもしろい場所だなと思うんですよ」。



木島平村での田んぼギャラリー  
田植え直後の水田に「ごはん」をテーマにしたポスターが並ぶ

轟久志 (Hisashi Todoroki)

アートディレクター／グラフィック デザイナー 株式会社トドロキデザイン 二代目代表取締役 1973年長野市生まれ。エイブルデザインを経て2004年トドロキデザイン設立。グラフィックデザインを中心に、食や地域などのブランディング、プロモーション等を多く手掛ける。特に農業分野での活動が多く、地元農家と共に地域を巻き込んだイベントや新商品を企画し、地域活性にもつなげている。主な仕事に「佐久 安養寺ら〜めん」「信州再出入豆」「伝統野菜ずみ大根」のブランドディレクション、「田んぼギャラリー」「食数路コミット 企画」推進など。トドロキデザイン農業部、トドロキ農園では、農産物や加工品の生産・デザイン企画・販売促進まで一連の農園ビジネスを進めている。日本グラフィックデザイン協会会員、長野アートディレクタークラブ会長、長野県デザイン振興協会理事、長野美術専門学校非常勤講師。

「JIKATSU DESIGN ジカツデザイン」  
JAGDA 展覧会委員会編 誠文堂新光社  
P38-43 より抜粋

令和8年度 日本大学芸術学部総合型選抜  
デザイン学科実技試験 ドローイング（4時間）

**【課題】**

以下の条件に従い「ふたの開いた箱を持つ手」を想定して描きなさい。

**【条件】**

- ・用紙は B3 画用紙を縦位置で使用し、名前記入欄が右上に来るようにすること。
- ・箱は 1 辺 10cm の立方体を想定すること。
- ・箱のふたの形状や開閉する仕組みの設定は自由とする。
- ・箱の材質は紙製、色は白とし、文字や模様のないものとする。
- ・描写する手は片手でも、両手でもよい。
- ・描写のモチーフは箱と手のみとし、それ以外の要素や背景は描かないものとする。